

小児科 専門研修プログラム

高い専門性と患者をトータルに診る診療能力を有した小児科医を育成します

千葉大学病院と県内連携施設を組み合わせたバランスの取れたプログラムです。小児科各専門分野にわたる豊富な症例と充実した指導医が揃っており、小児一般診療から一次～三次医療・先進医療まで、専門研修で修得すべき能力をしっかり身に付けることができます。

受入れ人数 : 10名
選考方法 : 書類選考、面接



学内には豊富な指導医が揃っています
血液腫瘍
感染症
内分泌・代謝
免疫・アレルギー
循環器
神経
新生児
遺伝子診療
児童虐待

■ プログラムの“ここがポイント”

●各専門分野の指導医が豊富です

大学病院には多くのグループの指導医が揃っています。連携施設にもそれぞれの専門分野の指導医がおり、いずれも優れた指導力を有しています。研修後半からサブスペシャリティ研修を開始できます。

●症例経験が豊富です

小児科学会が提示する指定疾患リスト(10分野)に含まれる希少疾患、重症疾患をもれなく経験できます。学会発表・院内症例発表の機会が豊富で、論文作成(専門医取得に必須)まで丁寧に指導します。

●様々なキャリアプランがあります

専門研修終了後、臨床、研究(大学院、留学)など様々なキャリアプランがあります。出産前後や育児中の女性医師支援も行っています。

●県内基幹病院で同門の先生の指導を受けられます

連携施設の指導医の多くは当科の同門の先生です。地域小児医療への貢献もできます。

医局員約80名(男女比1:1、千葉大:他大学出身比1:1)、同門の先生は約400名。すべて皆さんの先輩です!

■ 専門研修期間 : 3年

■ 研修連携施設・関連施設

県内基幹病院: 7施設

新生児研修施設(NICU): 5施設

関連施設: 3施設

県内基幹病院: 一般小児および専門領域の研修を行う連携施設(専門研修1~3年次)
国保旭中央病院、君津中央病院、船橋市立医療センター、帝京大学ちば総合医療センター、千葉市立海浜病院、国立病院機構下志津病院、千葉労災病院
新生児研修施設(NICU): (専門研修2~3年次)
国保旭中央病院、君津中央病院、千葉市立海浜病院、松戸市立病院、千葉大学医学部附属病院
関連施設: 特定専門領域の研修を短期間行う施設(専門研修1~3年次)
千葉大学医学部附属病院小児外科、国立病院機構千葉東病院、東千葉メディカルセンター

■ プログラム責任者

下条直樹

■ 研修プログラムに関するお問合せ先

千葉大学医学部附属病院小児科
菱木はるか Tel : 043-226-2144
e-mail : hishikih@faculty.chiba-u.jp

お気軽にお問合せください!

千葉大学病院 総合医療教育研修センターHP
<http://www.chibauniv-resident.jp/index.html>

千葉大学病院 見学のお申込み
<http://www.chibauniv-resident.jp/visit/index.html>

千葉大学医学部小児病態学
<http://www.pediatrics-chiba-u.org/>



小児科専門研修プログラム

小児科学会が提示する「小児科専門医の医師像」の5つの資質をバランスよく伸ばすプログラムです。
 1年目の(6~)12か月は千葉大学病院小児科一般病棟で内分泌代謝疾患・血液腫瘍疾患・アレルギー疾患・免疫不全・膠原病・呼吸器疾患・循環器疾患・神経疾患等を担当医として研修します。
 2年目または3年目に、県内基幹病院で小児救急を含む一般小児科を研修します。同様に、2年目または3年目に、県内NICUで新生児疾患を6~12か月研修します。
 3年間を通じ、外来での乳児健康診査と予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患の対応を担当医として研修します。
 2年目の後半以降サブスペシャリティを選択することができます。
 小児科学会研修手帳と独自の評価表を活用し、研修目標の設定とフィードバックを定期的に行います。

子どもの総合診療医

育児・健康
支援者

子どもの
代弁者

小児科専門医の
医師像

学識・
研究者

医療の
プロフェッ
ショナル

1年目	大学病院	診療の基本～先進医療	総合診療医
		難病・患者さんの死、虐待症例	代弁者
		発表のトレーニング、学生指導	学識・研究者
2年目	連携施設	一般小児診療、小児救急	総合診療医
		検診、予防接種	支援者
3年目	連携施設	診療の中心的なメンバー	総合診療医 プロフェッショナル
		学会発表、論文作成(必須)	学識・研究者
4年目	各々	小児科専門医取得！ 小児一般+サブスペシャリティ研修継続	すべての要素
5年目 ～	各々	サブスペシャリティ研修継続	すべての要素

小児科専門医の
すべての要素を
提供します

専門研修中に将来
のサブスペシャリ
ティを選択できます



研修モデル例

1年目: 大学病院(6~12か月) 病棟臨床グループに所属 複数専門領域を順次研修		2年目: 連携施設A 小児救急を含む 一般小児科研修		3年目: 施設B(NICU)(6~12か月) 新生児疾患・先天異常	
1年目: 大学 複数専門領域を順 次研修	1年目: 連携施設C 小児救急を含む 一般小児科研修	2年目: 連携施設D 小児救急を含む 一般小児科研修		3年目: 施設E(NICU)(6~12か月) 新生児疾患・先天異常	
1年目: 連携施設F 小児救急を含む 一般小児科研修	1年目: 大学 複数専門領域を順 次研修	2年目: 施設G(NICU)(6~12か月) 新生児疾患・先天異常		3年目: 連携施設H 小児救急を含む 一般小児科研修	

大学病院研修中に千葉東病院において腎研修を行います(必修1~2週間)。また希望により当院小児外科、東千葉メディカルセンターでの研修も可能です。

本プログラムに含まれる小児科に特化した研修施設

小児血液・がん専門医研修施設 小児循環器専門医修練施設
 日本周産期・新生児医学会指定研修施設
 日本小児神経学会研修施設

専門研修終了後、当科の関連病院で取得できる専門医

アレルギー専門医	リウマチ専門医	内分泌代謝科専門医
糖尿病専門医	感染症専門医	インфекションコントロールドクター
抗菌化学療法認定医	小児循環器専門医	循環器専門医
小児神経専門医	血液専門医	小児血液・がん専門医
Neonatal CPR	ACLSプロバイダー	PALSプロバイダー

みなみまちの
仲間も待って
るよ！

